

◎スモモヒメシンクイ越冬世代の発生始まる（5月6日調査）

～引き続きスモモヒメシンクイの重点防除期間です。防除間隔10日を目安に散布を徹底して下さい～
生育は平年並み～2日遅れで推移し、結実が判明してきました。園内の状況を確認し、予備摘果等の管理作業を早急に進めて下さい。また、ふくろみ病、シンクイムシ類の被害果は、園外へ除去して下さい。

1. プラム（2回分の防除を掲載）

【第6回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、アブラムシ類、黒斑病（かいよう病）

散布時期	・5月25日～6月4日（第5回定期散布から10日後）		
散布薬剤	水	100ℓ当り	散布日 _____5月____日
	展着剤	10mℓ	
	劇バイスロイドEW	33mℓ（14日前、2回）	散布量 _____ℓ
	マイコシールド	50g（21日前、3回）	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	①摘果果実は、腐敗病、シンクイムシ類の伝染源になりやすいため、園外へ除去する。葉・果実とも軟弱であり、散布の時間帯・薬液量等十分に注意する		

【第7回 定期防除】 対象病害虫：シンクイムシ類、ウメシロカイガラムシ、黒斑病（かいよう病）

散布時期	・6月4日～6月13日（第6回定期散布から10日後）		
散布薬剤	水	100ℓ当り	散布日 _____6月____日
	展着剤	10mℓ	
	アードントフロアブル	50mℓ（前日、3回）	散布量 _____ℓ
	劇ダズバンDF	33g（14日前、2回）	
	マイコシールド	50g（21日前、3回）	
散布量	10aあたり 500ℓ		
注意事項	大石早生は、マイコシールドを除いてよい。（収穫前使用規制厳守）		

劇・・・劇物をご購入の際は、印鑑をお持ちください

裏面もご覧ください

2. プルーン

【第4回 定期防除】 対象病害虫：灰星病 アブラムシ類、(ハマキムシ類)、シンクイムシ類

散布時期	・5月29日～6月8日 (前回の散布から14日後)	
散布薬剤	水 100ℓ当り 展着剤 10mℓ 劇モスピラン顆粒水溶剤 50g (前日、3回) バルクートフロアブル 50mℓ (3日前、3回)	散布日 ____月 ____日 散布量 _____ ℓ
散布量	10aあたり 500ℓ	
注意事項	摘果果実は、腐敗病の伝染源になりやすいので、土中深く埋めるか、園外へ除去する。	

※スモモヒメシンクイの捕獲数は、昨年に比べ多い傾向です。昨年 倭4頭・一本木3頭・草間5頭

※スモモヒメシンクイ発生状況 5月6日 ・倭10頭 ・一本木4頭 ・草間14頭

3. 着果管理について

<p>品種では、秋姫⇒大石早生⇒菅野中生⇒貴陽⇒太陽などの順に5月中旬頃から(結実状況を確認の上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予備摘果→仕上げ摘果→見直し摘果 ・園内が暗くなりやすいので新梢の整理を行なって下さい。 ・ふくろみ病の果実は翌年への越冬菌増加に繋がりますので、園外へ除去して下さい。

予備摘果 (基礎資料)

時期	摘果の程度	備考
満開～30日頃 (果実の細胞数の増加期)	大石早生、静香……最終着果量の2～3割増 太陽、貴陽 …… // 3～4割増	生理落果 少 // やや多

	残す果実	落とす果実
方法	①品質本来の形、正常果 ②果実が大きく縦長なもの ③果梗が太く、緑色の濃いもの ④着果位置が横向きか下向きなもの	①変形果、傷果、病虫害果 ②着果位置が上向きなもの (日焼け、傷果が発生する)

次回特報発行予定日：6月上旬 問合せ先：園芸課・担当 横田 (080-5147-8257)